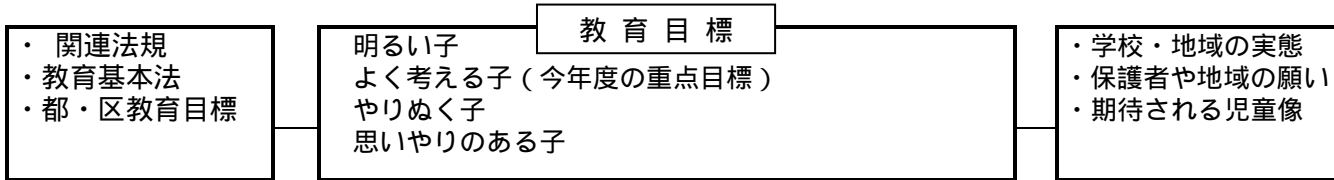


平成23年度 授業改善推進プラン



学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

校内研究の充実  
一人一人の学習進度状況把握と、支援体制の充実  
朝の基礎基本の徹底（読書・計算・漢字）  
国際学級における指導体制の整備

各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	取組内容	生活指導の重点
<p>教育活動全体を通して道徳性を育成する。道徳の時間の指導を工夫する。体験活動を重視する。保護者・地域と連携・協力して指導する。</p>	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書くことの機会を増やし、書き慣れることや表現の工夫だけでなく、考えを整理させたり、深めさせたりする。</li> <li>・ 「東町スタンダード」に則り、「話す」「聞く」ことについての態度を徹底する。</li> <li>・ 基礎基本の時間を活用し、継続的な指導を通して、漢字の定着を心がける。</li> <li>・ よい本とたくさん出合わせ、読書の幅をさらに広げさせる。</li> </ul>	<p>組織的な指導体制をとり、全職員で児童の指導に当たる。また、保護者や外部相談機関と連携を図りながら指導を進める。児童一人一人の人格を尊重し、相互の信頼関係を築く。社会的規範の定着を図る。健康安全に関する意識を高め、危険回避や災害に備えた適切な行動がとれるように指導の充実を図る。</p>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを表す活動を増やすことで、まとめる力や読み取る力を身に付けさせる。</li> <li>・ 自分の生活により関連付けながら、児童の興味関心を持続させるような教材を準備する。</li> <li>・ 学習したことが世の中や現在の生活と結びつけて考えられるように、新聞・ニュースを活用する。</li> </ul>	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハートフルカード（個別指導カード）を活用し、個の見取りを行い、一人一人に応じた指導を行う。</li> <li>・ 担任・少人数指導教諭・区講師と共に、単元や児童の実態に応じてTT指導や少人数指導、習熟度別学習や興味関心別学習などを展開する。</li> <li>・ 教材や教具に加えて、ノート指導の徹底、掲示物の工夫にも力を入れる。</li> <li>・ 児童同士の学び合いにより更に理解が深まるように、学習展開を工夫する。</li> </ul>	
<p>総合的な学習の時間の重点</p> <p>次の四つの力を育てることをねらいとする。 見つける力 調べる力 伝える力 振り返る力</p>	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察・実験では、予想、実験、結果、考察まできちんと表現させる学習サイクルを継続して行う。</li> <li>・ サイエンスアドバイザーと連携し、児童の興味関心を深める教材研究を進める。</li> </ul>	<p>進路指導の重点</p> <p>人間関係を構築する力（コミュニケーション力・自己理解力） （役割認識力・職業理解力） （将来設計力・情報活用力） （課題解決力・意志決定力） （勤労や職業に対する意欲・関心） （人生設計へのイメージ形成）</p>
	生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体験や考えを表す活動を増やすことで、まとめる力や読み取る力を身に付けさせる。</li> <li>・ 自分の生活により関連づけながら、児童の興味関心を持続させるような教材を準備する。</li> </ul>	
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の習得度の把握、記録し、指導に生かす。</li> <li>・ 学級担任と協力し、課外での指導を行ったり、家庭での協力をお願いしたりする。</li> <li>・ AV機器を活用し、同年代が歌う合唱等を聴き、目指す声を意識させる。</li> </ul>	
	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意図的に簡単なデッサンや下絵構図作成を授業に取り入れ表現力・観察力を身に付けさせる。</li> <li>・ 全体に取り組ませる基本的な課題に加え、難易度を上げた応用課題を設ける。</li> <li>・ 学級担任と協力し、休み時間などを活用して補習指導を行う。</li> </ul>	
	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能習得面では、区講師とともに個別に指導し、確実な技術を身に付けさせる。</li> <li>・ 学習したことを家庭でも実践するよう保護者の協力を仰ぐ。</li> <li>・ 学校生活の中でも学習したことを実践させる場を作る。</li> </ul>	
	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習を深めるため、例示や振り返りを簡単に記入することができる学習カードや掲示物を工夫する。</li> <li>・ 学校全体の運動を啓発できるよう、マラソン月間やなわとび大会、体育朝会などを設ける。また、掲示、用具の配置を考えていく。</li> <li>・ 走る、投げる、跳ぶなど運動の基礎や、ボールを使ったゲームや鬼ごっこなどを、短時間でも繰り返し行い日常化を図る。</li> </ul>	
	国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームだけでなく、落ち着いた雰囲気の中で読み書きなども取り入れ、学習内容の充実を目指す。</li> <li>・ 学級担任がNTと打ち合わせをし、よりよい学習活動を展開する。</li> <li>・ 国際科で学習したことを日常化するため、掲示物など学校の環境を整える。</li> </ul>	

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>始業前に基礎・基本の時間を実施する。（漢字・計算・音読） 夏休みに補習、サマースクールを実施する。 生活科や総合的な学習の時間を内容に応じ2学年合同で行う。 生活科・総合的な学習の時間の授業の中に地域学習を位置づける。</p>	<p>区講師との授業、少人数指導・TT指導など個に応じたきめ細やかな指導を行う。 習熟度別・興味関心別学習などを展開する。 全児童が漢字検定を受検し、それと併せて目標に学習を進める。 国際学級開設に向け、国際学級講師と連携した指導を行う。 学習のルール「東町スタンダード」の確立・徹底を目指す。</p>	<p>授業で児童が学習を振り返る機会を設定する。 ハートフルカードを用いて、算数に於ける個の見取りを細やかにを行い、指導に生かす。 教職員による学校評価を実施し、改善する。 保護者・地域による授業・学校評価を取り入れる。 本年度改訂した通知表の評価修正を行っている。</p>	<p>算数科を軸として、一人一人が生き生きと学べる少人数での学習のあり方について授業を通して研究を行う。 模擬授業や、区講師との学習会を通して、本校の目指す指導や学習のあり方が十分徹底するようにする。 国際科の内容を深め広げるためまた教師の指導力を高めるために毎週一回、定期的にNTと共に研修を行う。</p>	<p>地域の人材を活用したり、地域に出て学習したりする機会を増やす。 年三回、学校公開を行う。 地域清掃を学期ごとに行い、地域と学校の連携によって、行事をより豊かなものにする。</p>

今年度からの取組

定着・継続している取組

活性化が必要な取組